



平成26年1月7日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
(コード番号 6112)
問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
(TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年1月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,200	20	50	30	3.00
今回修正予想(B)	2,010	△23	14	7	0.71
増減額(B-A)	△190	△43	△36	△23	
増減率(%)	△8.6	—	△72.0	△76.7	
(ご参考)前期実績 (平成24年11月期)	1,279	△176	△141	△143	—

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては、一部工事進行基準を適用いたしておりますが、当113期通期における売上高につきましては、受注残の消化が引続き順調に推移し、前回発表予想数値22億円には及びませんが、前年同期12億79百万円を上回る20億10百万円を達成する見込みであります。

利益面につきましては、新製品に関する開発コストや売上増に伴い外注依存度が高まり生産コストの増加がありました。が、他面、人件費等固定費の削減等の成果もあり、前年同期の赤字水準(1.4億円台)から大幅に改善いたしましたものの、遺憾ながら予想数字(30百万円)には達せず、表記の当期純利益(7百万円)に減額修正するものであります。

受注状況につきましては、当期の受注高は、受注競争厳しく、不本意ながら前期(25億55百万円)には及ばず、10億13百万円の受注で推移し、受注残高につきましても、前期末(20億1百万円)を下回る10億3百万円に止まっております。

なお、現在、国内外を中心に数件の大型機械の引き合い物件先と交渉中であり、この成約に向けて、努力しているところであります。

*上記予想は現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上